

日本未来学会 2015 年大会概要

2015. 9. 24 版

■時 期：11 月 22 日（日）11：00-17：00

■会 場：日本科学未来館（臨海副都心、7 階会議室、定員 84 名）

■大会テーマ：「人間に未来はあるか」

■参加費：無料（学会会員以外にも広く公開。希望者には資料を実費配布予定）

+++++

■予定プログラム

【セッション1】人間に未来はあるか？ 11：00-12：30

～ 進化した機械と人間は「共生」できるか

○問題意識

2045 年、進化した機械が人間を凌駕するかもしれない「技術的特異点」（カーツワイルの言う singularity）は本当に来るのか。機械と人間の「共生の道」を探る。

○進行：公文俊平 & 鍋木孝昭（未来学会）

○論者

小林雅一（KDDI 総研リサーチフェロー、「AI の衝撃」）

浦野幸（株 Nicogory 代表、AI は弁護士の仕事を奪うのか）

○指定討論者

中島新（株フィックスターズ）、澤田美奈子（株ヒューマンルネッサンス研究所）

+++++（ランチタイム）+++++

【セッション2】人間はなぜ生きるのか？ 13：20-14：50

～ センテナリアン（100 歳人）の時代

○問題意識

人間の寿命は延伸し続け、100 歳（センテナリアン）時代到来も視野に入ってきた。このような人類未踏の事態は何をもたらすのか、について進化生態医学、社会システム、宗教哲学など多角的な視点から検討する。

○進行：小野直哉 & 林光（未来学会）

○講演者

長谷川敏彦（進化生態医学、研究実験国家、ケアサイクル論、元日本医大教授）

鎌田東二（宗教哲学、「翁童論」、京都大学こころの未来研究センター教授）

○指定討論者

古田隆彦（現代社会研究所）、堀池喜一郎（元気シニア実践者）

+++++（小休止）+++++

【セッション3】日本人とは何か？ 15：00-16：30

～ グローバル時代における「日本」と「日本人」

○問題意識

人口減少モードに突入した日本において、この国を構成する人々をどう考えるか、文明・文化史的な視野から、外国人就労と生活をめぐる今日的テーマまでを含めて議論する。

○進行：和田雄志（未来学会）

○講演者

久恒啓一（多摩大学経営情報学部教授、知的生産の技術研究会理事長）

大屋雄裕（名古屋大学法学部教授、「国民」か「市民」か、法哲学）

○指定討論者

楊炯（行知学園）、原英史（政策工房代表）、橋川幸夫（デジタルメディア研究所）

+++++

【総括】16：30-17：00

進行：公文俊平会長